



明るくやさしさに溢れる石神井中

石神井中だより

練馬区立石神井中学校

校長 山根 浩孝

平成 30 年 9 月 8 日

第 5 号

目標をもって努力する

校長 山根 浩孝



長い夏休みが終わり、いよいよ二学期が始まりました。充実した夏休みを過ごすことができたでしょうか。始業式では石中生の元気な姿を見ることができて、とてもうれしく思います。今年の夏は例年と比べて、猛暑が続くとても暑い夏となりました。学校でも、できるだけこまめに休憩を入れる、涼しいところで体を休める等、皆さんの健康、安全に留意して活動してきました。全国各地で様々な被害が出ています。皆さんのご家族や親戚の方は大丈夫でしょうか。

この夏休みにも石神井中の生徒は多くのところで活躍していました。夏季学力補充教室では、各学年とも、一生懸命に学習に取り組む姿が見られました。7月30日から8月2日まで行われた下田臨海学校では、参加した1年生53名が一人も見学することなく水泳実習を行い、全員が見事に大遠泳を成功させました。石神井中が臨海学校を実施する前日までは、台風の影響で波も高く、その期間に臨海学校を実施した中学校は、十分に水泳実習ができなかったそうです。全員が予定通りに練習をして、完泳できたことはとてもすばらしいことですが、外浦海岸までの通路や水泳実習を行う浜辺の整備等、事前に私たちが安全に水泳実習ができる環境を整えてくれた多くの方々がいたことを忘れてはいけません。また、I組の3年生は、この夏休みに2日間の職場体験を行い、しっかり実習をやり遂げることができました。職場体験を受け入れてくれた事業所の方々にも、感謝しています。また、石神井中の生徒は、都大会や全国大会、コンクールに出場し、本校の代表として活躍していました。どんなに苦しい状況でも、最後まであきらめずに競技する姿は大変立派だったと思います。練馬区海外派遣の代表生徒は7/22~29までの8日間、オーストラリアのイプスウィッチへ行きました。みんな、本当によく頑張りました。



今年の夏は、数多くのスポーツが行われました。第100回全国高等学校野球選手権記念大会やアジア競技大会等、たくさんの選手の活躍を見るることができました。皆さんの中にも、見ていた人が多いと思いますが、競技を終えた後のコメントを聞いてみると、多くの選手が「仲間と協力して頑張ってきた」「少しでもよい記録が出せるよう努力した」さらに「家族や周りの支えがあって、ここまで来ることができた」と話しています。周りの人達の多くの応援が各選手にとって、励みや力になっていたことがわかります。そして、夢や希望をしっかりともち、一日一日を大切にして、努力を積み重ねることが大切だと思いました。しっかりと目標をもって努力すれば、目標は必ず実現する。皆さんには、今、この瞬間を大切にしてほしいと思います。石神井中学校では、二学期、たくさんの行事があります。3年生は、来週の12日から14日まで修学旅行、21日には、練馬区の連合陸上競技大会があります。さらに、10月には、石神井中学校二大行事の合唱コンクール、11月には、I組の八校合同文化発表会があります。部活動では、新人大会が行われます。皆さんは、こうした行事に明確な目標をもって臨んでください。そして、学習面も同じです。9月25日26日は中間考査があります。「計算は確実にできるようにする」「前回より20点以上とる」等、目標をしっかりと立てることが大切です。石中生には、一人一人が自分にあった目標を立て、何事にも一生懸命に努力してほしいと思います。頑張りましょう。